

2021年11月17日

米海軍厚木航空施設所属の全人員に対する覚書

差出人：米海軍厚木航空施設司令部

件名：公衆衛生緊急事態宣言/最新発令

参照：

- (a) 2021年3月14日付 在日米軍公衆衛生緊急宣言
- (b) 2021年7月1日付 軍公衆衛生保護令 21-003 FRAGO 003 2021年3月14日付
- (c) 米国防総省指示書 6200.03
- (d) 2020年4月2日付 在日米海軍日本管区司令部覚書
- (e) 2021年11月10日付 在日米海軍司令部
- (f) 2021年6月22日付 在日米海軍司令部覚書
- (g) 2021年4月付 太平洋艦隊 DTG020307Z
- (h) 2021年10月14日付 米海軍厚木航空施設公衆衛生緊急宣言
- (i) 米海軍厚木航空施設 5512.9H
- (j) 米海軍厚木航空施設 1752.3L 家族擁護プログラム
- (k) 在日米海軍司令部マスク方針（更新4）
- (l) 2020年3月2日付 在日米軍全駐留軍・活動軍勤務時間外自由行動命令

添付：(1) 承認特定地域自由行動範囲/非業務範囲地図

<https://www.google.com/maps/d/u/0/viewer?fbclid=IwAR2FRXn!LhmWGrz6H3sWp6AugOCdmTqLoXnUVd9mewCkG5FbQnOnxMIBSzy&mid=IsTobRyYlsOTIXF7t7GRAP3PimblfjF67&I1=35.49836069404528%2C13.846006749999998&z=5>

1. 目的：我々の新型コロナウイルスに関する任務は引き続き同じである。

- a. 我々の健康及び社会の福祉を守る。
- b. 新型コロナウイルスの拡散を最小限に抑え、我々全隊の戦闘への即応性を維持する。

2. 意図と適用範囲：本覚書の意図は、健康保護警戒態勢 Alpha (HPCON A) が敷かれる中、公務、必要不可欠活動、休暇、自由行動の具体的な許容を示すことである。本覚書は参照(h)を更新されたものであり、当施設内外における休暇、非公務旅行、自由行動の指針を提供し、当施設外における休暇、非公務旅行、自由行動可能範囲を定義し、米海軍厚木基地内におけるサービスと社会交流についての変更を定めるものである。本覚書は全ての在日米軍司令部 (COMUSFJ)、在日米海軍司令部 (CNFJ)、在日米海軍日本管区司令部 (CNRJ) による新型コロナウイルスガイドンス、指示書、方針に加えるものである。これらは停止、または失効されるまで有効である。本覚書は米海軍厚木航空施設に配属、所属、または居住する全ての軍人及びその家族、アメリカ国防省民間従業員、契約業者従業員に適用される。米海軍厚木航空施設で働く基本労務契約 (MLC) 従業員、諸機関労務協約 (IHA) 従業員は、実行可能な最大限の範囲でこの命令に従うことが奨励される。

3. 背景：参照(a)から(c)に基づき、公衆衛生緊急事態宣言は、運用上の有効性を維持しながら最大の公衆衛生上の利益を達成するため、状況に対応するよう各施設司令官に関連する緊急措置を講

じることを許可するものである。PHEに基づいて付与されるその他の権限には、軍人に健康診断または検査を受けるように指示すること、商品の流通を管理または制限、または閉鎖すること、避難を指示すること、または公衆衛生を危険にさらす資産または施設を除染すること、施設への出入りの管理、が含まれるが、これらに限定されない。

4. PHE を支援するため、次の更新された方針及び規制を参照 (a) から (l) に従い実行される。本覚書は施行時に有効となる：

a. 罹患、またはそれが疑われる場合 もし自分が何かしらの理由で罹患した、または症状が出始めた場合、もしくはインフルエンザに似た症状 (ILI) が現れた場合、まず、自身の上司に連絡し、自宅にとどまり、自身を隔離して、医療施設に連絡することが指示される。この発令が適用されるすべての人員は、その行動により新型コロナウイルス拡大を防ぐことができる。

b. マスク・顔面被覆

1. すべての人員は、常に直ぐマスクを着用できる状態になっていなければならない。マスクを着用するときは、鼻と口を完全に覆わなければならない。

2. 施設内：参照 (k) により、ワクチン接種を完了した者は、例外を除き国防総省施設でのマスク義務はなくなる。例外とされる場合は、軍治療施設、国防省教育施設 (DODEA)、受入国人員と接触する場合、また、いかなる入口・入国管理地点を通過する場合、とする。ワクチン接種を完了していない者 (ワクチン接種が認められていない 12 歳以下を含む) のマスク着用と、他人との適切な距離間を保つことは、自宅を除き、当施設内で必須のままである。当施設外では、ワクチン接種の状況にかかわらず、マスクの着用はいかなる場合も必須である。より制限的な規則を考慮する部隊司令官と機関長は、その規則を遵守させるため目立つようにその規則を施設内に張り出さなければならない。

3. 施設外：ワクチン接種状況にかかわらず、全人員マスク着用は必須である。

c. 手の洗浄 ウイルス感染拡大を最小限にするため、次に述べることを心がけること：最低 20 秒以上また頻繁に手を洗うこと。手消毒液を使うこと。手で顔を触るのを避けること。握手や他人に触れるのを避けること。くしゃみや咳をするときはエチケットを守る事。他の世帯との接触を制限すること。混雑する場所は避けること。公共交通機関を利用する際は手袋を着用することを検討すること。全ての人員は過去 14 日間にさかのぼり、行動と濃厚接触者を記録すべきである。

d. 濃厚接触者記録 参照 (b) と (d) により、ワクチン接種が完了していない者は 14 日間の行動記録、旅行記録、濃厚接触者の記録を書き留めること。濃厚接触者とは、マスクの着用にかかわらず 6 フィートまたは 2 メートル以内の距離で 24 時間以内に累積 15 分以上接触した人物のことである。

e. 米海軍厚木航空施設へのゲスト 参照 (i) に基づき、ゲストの入門は許可される。

f. 門限時間 自分がいる自治体の外出自粛制限に従うこと。制限が少ない場所では、在日米軍門限基準が適用される。参照 (l) を確認のこと。

g. 添付 (1) は、緑色の地域 (通常危険地域)、赤色の地域 (非常にリスクの高い地域)、および灰色の領域 (承認された休暇/自由行動/勤務時間外/非公務中の旅行地域外) を示している。この地図は毎週更新され、米海軍厚木航空施設のフェイスブックにて掲載される。

h. 以下は全ての地域と都道府県で、全ての人員の自由行動時間、休暇又は非公務旅行の間適用される。

(1) 公共交通機関の使用は承認される。公共交通機関でのアルコールの消費は禁止である。常にマスクや顔を覆うものを着用しなければいけない。また、手袋の着用も強く推奨される。人員は、大量輸送の使用を制限し、混雑した公共交通機関を避け、この命令書で示された緩和策を維持しなければならない。

(2) 健康保護警戒態勢 (HPCON) が C または D でなければ、他の国防総省施設を訪問してよい。

(3) HPCON C または D の施設を訪問する場合は、各自の司令官が同意した公務でのみ認められる。

(4) \* \*

(5) グループ活動、チーム活動（エクササイズ、サッカー、バスケットボール、キャプテン・カップなど）や身体的接触が必要なスポーツ（武術、レスリング）を行うことは許可される。この指示書の条項 4. b に記載されているマスク/顔面被覆ガイドラインを順守すること。

i. 以下は緑色の全地域に適用される（米海軍厚木航空施設内の地域を含まない）

(1) 室内外で行われるイベントは許可される。但し、混雑している場所に加わることを最小限に抑えるよう注意すること。

(2) 基地外のホテルや旅館（私設ロジレンタルを含む）で宿泊滞在することは許可される。

j. 以下は赤色の全地域で適用される（米海軍厚木航空施設内の地域は含まれない）

(1) 室内の飲食は許可されない。屋外での飲食、注文/テイクアウトは許可される。

(2) 混雑や近接により適切な人との距離を保てない屋内イベント、またそれに類似した場所、例えば、美容室、タトゥーショップ、水族館、動物園、遊園地、コンサート会場、温泉、銭湯、プールなど、は許可されない。

(3) 基地外のホテルや旅館（私設ロジレンタルを含む）で宿泊滞在することは許可されない。国防総省が所有および運営する宿泊施設（多摩サービス補助施設、赤坂プレスセンター、ニュー山王ホテル）は認可される。

(4) 公園やその他類似した屋外場、屋外スポーツ会場、屋外模様霜の会場は許可される。混雑した場所を避け、本書に記載の緩和策を守るよう注意すること。

k. 黒色の地域では、次に述べる必要旅行と活動のみ行うことが出来る。

(1) 医療、または歯科予約。雇用。教育。車両登録。税金や請求の支払い。動物病院や犬のホテルでのペットの治療や世話。大使館を含んだ行政の業務。

l. 黒色の地域に居住する人員について。

(1) 黄色地域と赤い地域への旅行と条項 4. i と 4. j の遵守は許可される。

(2) 個人の住居から 10km 以内で、車の修理・維持、または居住地の修理や維持など、個人は、個人または家族のが必要とするものや必要な食料、燃料、重要な必需品を求めて旅行し、購入することはできる。また、10 km 以内で、人口がまばら、または交通量が少ない場所での屋外運動（例：ランニング、ウォーキング、サイクリング、ハイキング、公園へ行く、キャンピングや釣り）は許可される。屋外での水辺のリクリエーション（例：カヤック、パドルボーディング、セーリング、サーフィン）は許可される。

m. 休暇と非公務旅行 日本国内の休暇と非公務旅行は、在日米海軍県状況地図にある黄色と緑の地区のみ許可される。休暇（緊急休暇を含む）承認権限は、必要に応じて、参照 (f) 及び (g) に従い、部隊指揮官、司令官、担当指揮官以上または同等の民間職員に委任される。部隊指揮官および司令官による承認を条件とする。休暇で赤色の都道府県へ訪れることは、人道上の理由でのみ考慮される。赤色の地域より休暇から戻った者は、戻った際に追加の制限を受ける場合がある。参照 (a) により、国防総省人員はアメリカ国内、またはそれ以外の国で休暇を取得している間、国防総省、連邦政府、州およびその地方の制限を遵守する。疾病管理予防センター (CDC) 旅行健康注意レベル 3 又は 4 (COVID-19) で指定された場所への休暇、非公務旅行の承認機関は、参照 (f) から (g) に準拠している。

(1) 休暇または非公務旅行中に滞在している地域が赤い地域へと更新された場合、指示を仰ぐため、各自部隊へ連絡をしなければいけない。また、部隊は赤く更新された地域に滞在する休暇中または非公務旅行中の人員及び休暇承認した者に、その情報を通知するものとする。休暇承認者の裁量により、個人は承認された休暇または非公務旅行を完了することができる。但し、条項 4k と 4l に示されているように、基本的な活動を行うことのみが許可される。米海軍厚木航空施設では赤の地域における休暇または休暇延長は付与されない。

n. 行動制限 日本国外から入国した人員は、参照 (b) と (e) に従い行動制限の完了を求められる。ワクチン接種が完了した者は 5 日目にテストを伴う 10 日間の行動制限、ワクチン接種が完了していない者には 5 日目のテストを伴う 14 日間の行動制限となる。

5. 施設内外での集団活動及び集会の制限

a. 施設内での集団活動では規模の制限はない。

b. 施設外での集団活動では規模の制限はない。但し、都道府県のガイドラインと個別の方針を遵守すること。

c. この指示書の条項 4. b にあるマスク/顔面被覆ガイドラインは、いかなる場所でも順守しなければならない。

6. 私は、米海軍厚木航空施設が適切に軍事任務を完遂させるため、上記の制限は合理的であると決定した。部隊指揮者が各自の責任を負う重要性を誇張することは出来ない。更に、米海軍厚木航

空施設の人員は、この宣言を通じて提示された指示書、方針、および手順を順守する個人的な責任がある。この覚書は懲戒的であり、軍人への合法的な命令となる。規制に違反した軍人を発見したときは、統一軍事裁判法に基づき罰せられる。規則に違反した民間人を発見した場合は、米海軍厚木からの禁止を含む刑事制裁、行政処分、部隊後援の喪失、そして/または扶養家族の早期帰国処分に直面する。施設の安全性を維持するために、違反に対しては、禁止措置などの行政上の改善策が積極的に追求される。

7. 米海軍厚木航空施設の皆さん、この戦いに完全に勝利したということはまだできないが、私には終わりが見えてきたと信じている。あなた方がそれを可能にしたのだ！あなた方の忠実な理解と継続的な支援に感謝する。緩和された対策をエンジョイし、自由を保ち、選択肢を豊富にするために引き続き各自が必要な行動をとるように心がけよう。

/s/

J. M. MONTAGNET